

宿根かすみそうの挿し芽苗生産のための母株管理法

南部分場，野菜花き部

1、背景とねらい

宿根かすみそうは，近年，夏秋どりを中心に作付拡大されているが，生産に必要な挿し芽苗の安定確保が栽培上の課題となっている。

挿し芽苗の良苗生産は，母株を温度管理することによって行うが，母株の加温開始前の低温遭遇時間については未検討であった。

また，母株の利用年数についても明らかでなかった。

そこで，良苗生産のため，母株の低温遭遇量及び母株として利用できる株齢，増殖回数について検討したところ，成果が得られたので指導上の参考に供する。

2、技術の内容

1) 採穂用母株は5℃以下の低温に300～400時間遭遇させることによって，早期の採穂数，総採穂数が多くなる。

2) 採穂用母株として利用できる株齢は4年株までとする。

なお，株齢1～2年の母株から採穂，増殖した株を母株として利用できる。この場合の母株の継代増殖は1回とする。

3) 適応地域 県下全域

3、指導上の留意事項

1) 品種はプリストルフェアリーとする。

2) 母株は5℃以下の低温に300～400時間遭遇後，ハウス内で加温を開始するが，最低温度10℃に管理し，日中は25℃を超えないように換気する。

3) 電照による採穂数の早期確保効果は認められないため，電照は不要である。

4) 採穂は対葉数が5～6対程度になったら2対残して行ない，莖長を伸ばさないように母株の株仕立を実施する。

4、当該事項にかかる研究課題名

宿根かすみそうの優良母株大量増殖法の解明

宿根かすみそうの夏秋どり栽培法 ②挿し芽苗生産の良苗育成法

5、参考文献，資料

昭和61年 夏秋どり宿根かすみそうの良苗育成法 岩手園試 野菜花き部

6、試験成績の概要

表 1 採穂時調査ならびに切花品質，収穫期（元年，3年株）

区	3/29		5/3		6/10		採穂数 合計 (本)	切花長 (cm)	開花 枝数 (本)	収穫期 (月・日)
	茎長 (cm)	採穂数 (本)	茎長 (cm)	採穂数 (本)	茎長 (cm)	採穂数 (本)				
①0 時間	6.8	11.3	11.6	12.5	25.8	15.3	39.1	101.1	6.6	8.22
②100	9.9	16.8	12.5	14.5	20.8	17.3	48.6	100.8	7.9	8.18
③200	11.8	18.3	10.1	10.8	27.3	23.0	52.1	94.3	7.2	8.20
④300	12.8	21.8	9.9	11.5	22.8	23.3	56.6	100.8	7.8	8.18
⑤400	14.6	21.7	8.1	8.5	18.3	27.0	57.2	102.1	8.0	8.19

注) 供試苗:購入苗からの増殖回数1回

表 2 採穂時調査ならびに切花品質，収穫期（元年）

区	株 齢	母株 増殖 回数	3/29			切花長 (cm)	開花 枝数 (本)	収穫期 月・日
			対葉数 (枚)	茎長 (cm)	採穂数 (本)			
①	2	0	9.6	6.4	4.1	96.9	9.4	8.15
②	2	1	9.1	7.3	4.1	96.4	4.8	8.23
③	2	2	7.8	5.0	4.7	87.8	4.7	8.22
④	1	—	—	—	—	99.6	6.5	8.22
⑤	2	—	8.5	5.9	5.6	100.7	7.9	8.20
⑥	3	—	8.3	7.9	10.7	97.8	6.8	8.24
⑦	4	—	8.7	8.4	11.1	94.1	7.3	8.21

注) 供試苗：①②③は岩手園試培養苗，④⑤⑥⑦は種苗会社から購入。
母株増殖回数：1回は、培養苗からの採穂による増殖，2回は1回増殖株からの採穂増殖（継代増殖）。